

沖縄美ら海水族館 海のふしぎ 発見シート

初級編 解説

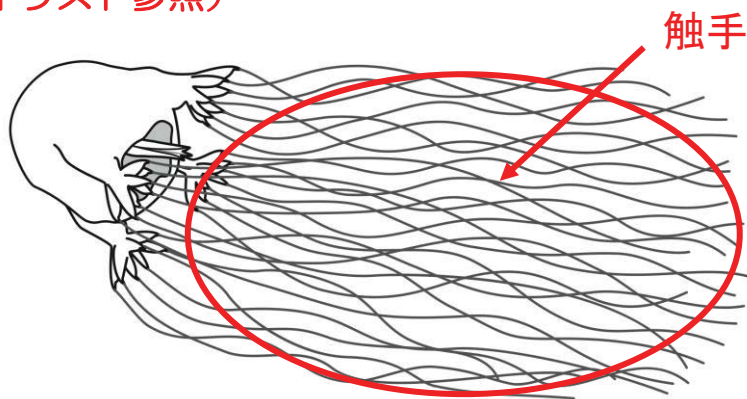
問1. 正解 ヒトデの仲間

水槽にたくさん展示されている星形の生き物はヒトデの仲間です。ヒトデは棘皮動物きょくひというグループの生き物で、見た目は全然違いますが、ウニやナマコの仲間もこのグループに入ります。

問2. 正解 サンゴの仲間

水槽に展示されている植物の枝のような形をした生き物はサンゴの仲間です。動かないサンゴはまるで植物のように見えますが、イソギンチャクやクラゲの仲間と同じ刺胞動物しほうというグループの動物です。多くのサンゴは、たくさんの個体（ポリプ）からなる1つの塊ぐんたい（群体）を形成しています。群体の形は種類によって異なり、枝状、テーブル状などさまざまです。

問3. 正解（イラスト参照）



沖縄県内に5～10月頃に発生するクラゲです。カサの高さは10cmほどです。カサの四隅からは、長いものでは1.5mを超える触手しよくしゆが束になって伸びています。触手の刺胞毒は非常に強力で刺されるととても痛く、ショックを起こすこともあります。

問4. 正解 C (サメ)

「黒潮の海」水槽で飼育されている一番大きな生き物「ジンベエザメ」は、サメの仲間です。体は大きいのですが、小さなプランクトンや小魚など小動物しか食べません。当館では、エサとしてオキアミなどを与えています。

問5. 正解 B (くらい)

一般的に水深200mより深いところを深海と呼びます。深海は「高圧」「低温」「暗黒」の世界で、水深200mより深い海では太陽の光はほとんど届きません。当館の「深海への旅」コーナーでは、主に沖縄周辺の水深200m以深から採集した貴重な深海生物を展示しています。そのため、各水槽の照明は深海の環境に合わせて暗くしています。